

---

ICT活用空間共有実証事業

# 「ICTでつながる教室」

～ 教育にICTをプラス ～

2016年7月5日

会津若松市／会津若松市教育委員会  
東日本電信電話株式会社  
協力：NECネットエスアイ株式会社

---

## 1. 事業目的

---

### 【目的】

○「スマートシティ会津若松」の一環として、教育分野でのICTの利便性を体感する取組。遠隔教育や離れた学校間の連携など、教育空間の共有を目指す。

○平成28年度は、今後の導入を検討するため、学校において、離れた場所との臨場感あるコミュニケーションを実現するデモンストラーションを行う。



## 2. 実証にあたっての活用の方向性

### ① 学校間連携による合同授業などの取組

- ・離れた学校間や同一校での合同授業の可能性(学習の様子が分かる)
- ・より多くの子どもたちと交流を図ること

### ② 基礎学力向上のための教育コンテンツ活用の拡充化

- ・電子黒板、デジタルコンテンツも活用した分かり易い授業  
など…

### ③ 学校間連携による教員の指導力向上等の研修機会

- ・指導力の高い教員の授業の見学
- ・有識者による講演やデモ授業
- ・学校間の意見交換、情報共有が図られる など…

2

## 3. システムの概要(SmoothSpace)

- ・ 2つのスクリーンあるいは壁面に、プロジェクションマッピング技術を用いて遠隔地の空間を投影します
- ・ 目の前に別空間が広がり、遠くにいる人でも距離を越えてすぐ隣にいるかのような感覚を生み出します

#### 【設置場所】(モデル校)

謹教小学校 2階しらはぎルーム、3階わかぎルーム

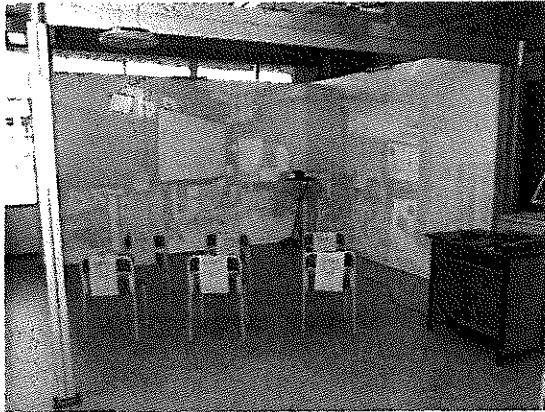
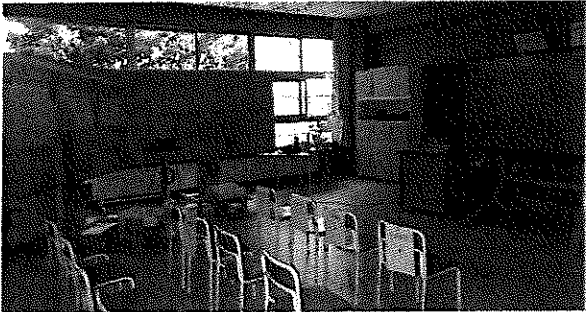
#### 【構築概要】

- ・「SmoothSpace」の設置により、2つの教室をつないだモデル授業を実施する。
- ・2階には、80インチの電子黒板も設置。
- ・先生、児童生徒用のタブレットPCを用意。タブレットを使った学習のほか、スクリーンへ、電子黒板への投影が可能。

#### 【実証期間】

平成28年7月1日(金) ~ 7月20日(水)

## 4. 設置写真

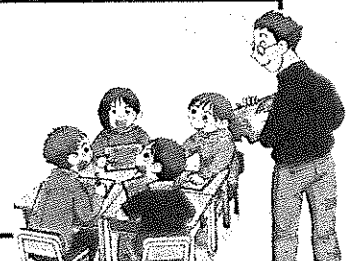
<p>やぐらモデル (3階わかぎルーム)</p>	<p>簡易モデル (2階しらはぎルーム)</p>
<p>教室にやぐらを設置し、壁2面に相手側の映像を投影するモデル</p>	<p>スクリーン2面を活用して相手方の映像を投影するモデル 80インチの電子黒板も設置</p>
	

4

## 5. システムの特長

<p>✓ 同じ教室に いるように</p>	<p>✓ 多様な利用シーン</p>	<p>✓ 異文化との 交流も身近に</p>
<p>リアルな映像と音声、さらに教室の雰囲気も共有することで、遠隔地の先生と生徒が隣にいる様な学習が可能。</p>	<p>常時接続、空間投影(ほぼ実寸大で全身が投影)の特徴を活かし、座学形式だけでなく、様々な教育の場での利用が可能。</p>	<p>システムの接続先を切り替えることで、国内はもとより海外との合同学習も可能。  ※ネットワーク環境が必要。</p>

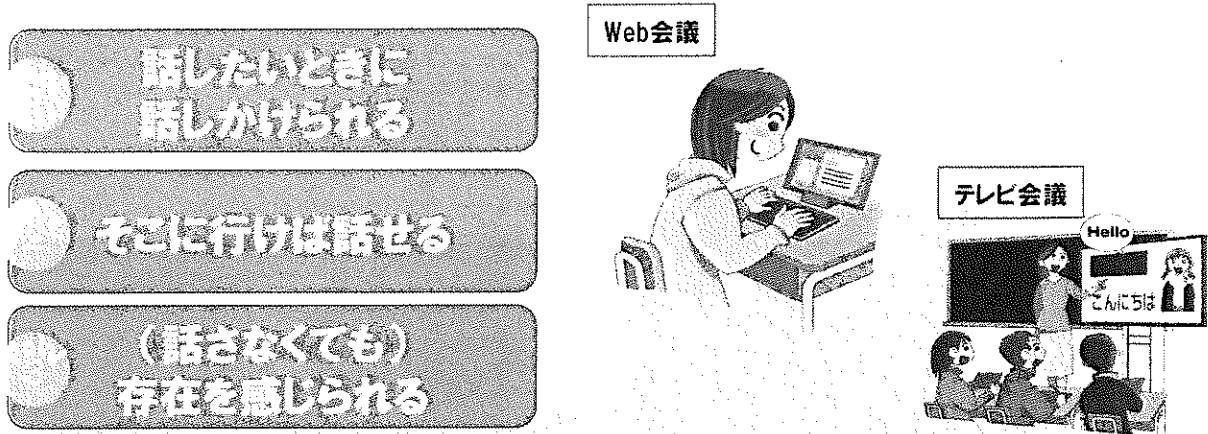
- 離れた校舎とのコミュニケーションを活性化
- 日常的な交流で遠隔地の校友関係を円滑化
- 新たなアイデアを誘発
- イノベーションなど知的創造を促進



5

## 6. Web会議・テレビ会議との違い

- 以下の3点において、従来の相手の顔を見ながらコミュニケーションを行うWeb会議、テレビ会議と用途が異なる



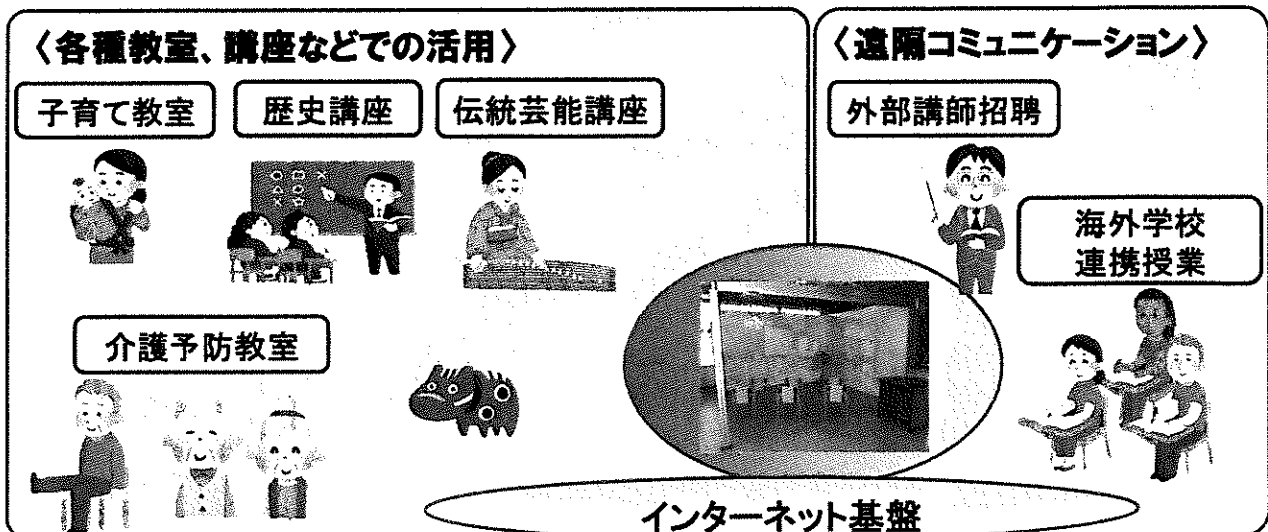
教室そのものを投影、常時接続することで、  
必要なときにいつでも見える、話せる環境を構築

6

## 7. 【参考】実証を踏まえた今後の検討

- 今回の実証結果を踏まえ、まずは、学校での活用を検討していく
- あわせて、様々な分野での広がりについても検討していく。

### 「スマートシティ会津若松」の実現による市民生活の利便性向上



7